

令和4年度第1回地域包括支援センター運営協議会会議報告書

1. 開催日時 令和4年7月14日（木） 午後2時から午後3時30分まで
2. 開催場所 市役所東庁舎3階 会議室
3. 出席者 小木曾会長、松本副会長、福岡委員、鶴澤委員、廣瀬委員、河合委員、加瀬委員、加藤委員、坂巻委員、中世委員、濱淵委員、金親委員  
 欠席者 本間委員、國島委員  
 事務局 高齢者福祉課 竹内課長、村田係長、加藤主任保健師、堀場主査補  
 白井中央地域包括支援センター 村上、西白井駅前地域包括支援センター 大澤  
 白井駅前地域包括支援センター 櫻田
4. 傍聴者 なし
5. 次第  
 議題  
 (1) 令和3年度事業実績について  
 (2) 令和4年度事業計画及び予算について  
 (3) 介護予防ケアマネジメント新規委託契約事業所について  
 (4) その他
6. 議 事 以下の概要のとおり

会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務局の自己紹介</li> <li>○ 会長あいさつ                小木曾会長よりあいさつがなされる。</li> <li>○ 議題                ただいまの出席委員は11名、過半数に達しているので、会議を開会する。(12名出席)</li> </ul>
事務局 会長 委員	<p>議題1 令和3年度事業実績についてを議題とする。事務局より説明を求める。          資料1により説明</p> <p>議題1については報告事項となる。何か質問はあるか。          実態調査業務について、昨日実際にあった事例のため質問する。住民による買い物支援に関わっているが、昨日申し込みのあった方は緊急連絡先がないと言われ、未記入であった。その方は要支援1の認定を受けている。買い物先で何かあった時に、連絡先がないと困ってしまう。認定調査や実態調査により市は緊急連絡先を把握しているのか。また、緊急連絡先が無い場合、市にお任せするということが良いのか。</p>
事務局	<p>こちら実態調査により緊急連絡先や身内の方の状況を確認している。なかには、全く身寄りのいない方もいる。そのような場合、万が一の備えのために終活支援ノートを活用し、成年後見制度の案内を行っている。見守りネットワークの関係で、心配な高齢者の情報が入った場合スムーズに対応するためにも、緊急連絡先の把握に努めている。個別に何か困ることがあれば、地域包括支援センターに相談して頂きたい。</p>
会長 委員	<p>他に質問はあるか。          総合相談支援件数について、消防・警察保護事案対応等の件数が令和2年度に比べ増</p>

	<p>えている。昨年度に比べ、どのような事案が多かったのか。それを踏まえて、どのような対応をとるのか。</p>
事務局	<p>内容としては消防からの通報が圧倒的に多い。市と消防署とで連携し、救急搬送した高齢者の情報を頂いている。今後、どのようなケースで情報を頂くのか、消防署と検討を行っていきたい。</p>
委員	<p>救急医療情報キットの活用が増えたことと関連があるのか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり。救急医療情報キットの配布件数も増えている。また、実際の救急現場で救急医療情報キットの情報が活用される実績も増えている。</p>
会長	<p>他に質問はあるか。無いようであれば議題1は終了する。</p>
	<p>議題2 令和4年度事業計画及び予算についてを議題とする。事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>資料2-1、2-2により説明</p>
会長	<p>議題2も報告事項となる。何か質問はあるか。</p>
委員	<p>高齢者は65歳以上となっているが、後期高齢者になってからの方が、支援が必要になってくると思う。後期高齢者の状況を知りたい。生活支援コーディネーターはどこにどれくらい配置されているのか。予算のなかのハードディスクの破壊作業料と記載があるが、金額を確認したい。</p>
事務局	<p>令和4年4月1日時点で、65歳以上の方の人口は17,378人。そのうち75歳以上の方の人口は8,435名となる。生活支援コーディネーターの配置については、社会福祉協議会に委託している。市全体を見るコーディネーターが常勤1名。市内の圏域を2つに分けて配置しているが、常勤1名、非常勤2名の合計4名配置されている。ハードディスクの破壊作業料については、10万円程であったと思われる。</p>
会長	<p>他に質問はあるか。</p>
委員	<p>予算全体を見て、マイナスが多く目立つ。これは市全体として緊縮財政を取ったものなのか。他の理由があるのか。</p>
事務局	<p>一番大きな変更点は、直営で行っていた地域包括支援センターを委託にしている。元々予算計上した場所が変わっていること。委託料が1,800万円増額になっている。他の金額とは一桁違っている。市の行政状況に応じて減額になっているかとは違った理由となっている。</p>
委員	<p>大きな変更点については理解した。細かな事業について、細かく削られている。その理由について確認したい。</p>
事務局	<p>PCDA サイクルを回していくことで、業務を見直し効率化を図った。また救急医療情報キットでは複数年度分をまとめて発注することで単価が低くなることもあり、隔年で計上することもある。他には直営に配置していた会計年度職員が、委託により配置されなくなったことも理由となる。</p>
委員	<p>予算の状況を見ると、白井市の財政が厳しいのではという印象を受けた。</p>
会長	<p>他に質問はあるか。</p>
委員	<p>担当圏域の特徴分析に基づき、各事業計画を作成していること。白井駅前地域包括支援センター圏域の特徴分析について指摘したい。実際には違いがあるのではと感じた。</p>

事務局	再分析とまでとは言わないが、文言の修正をお願いしたい。 ご指摘ありがとうございます。担当圏域の特徴として、親元で暮らす引きこもりの息子が多いように感じている。現在は金銭的に困っていない状況だが、様々な問題を抱えている。
会長	他に質問はあるか。無いようであれば議題2は終了とする。 議題3 介護予防ケアマネジメント新規委託契約事業所についてを議題とする。事務局より説明を求める。
事務局	資料3により説明
会長	何か質問はあるか。
委員	居宅介護支援事業所一覧のうち、独立型居宅介護支援事業所はどれくらいあるのか。
事務局	市内の事業所だと2か所。どちらも、一人ケアマネで行っている。市外にも独立型の事業所あるが、複数のケアマネで対応している。
会長	他に質問はあるか。議題3は、承認事項となるので挙手をお願いする。 全員賛成により承認することに決定する。 議題4 その他について事務局より何かあるか。
事務局	次回の会議は11月10日(木)を予定している。
会長	委員から何かあるか。
委員	白井市ではしろい保健福祉ガイドブックを発行しており、良い情報が載っている。ただ、多くの高齢者が把握していないことがある。地域包括支援センターでは多くの方に情報提供して頂きたい。
会長	以上で本日の会議を終了する。